

令和4年度マグノリア事業計画書

1. 施設理念

地域の総合相談窓口機能を強化し、地域と共に歩み、地域に選ばれる施設を目指す。

2. 施設方針・テーマ

「感染症対策に注力し、安心してご利用いただける在宅サービスを提供します。」

3. 実施事業

(1) 通所介護事業

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・通所介護 | 定員 45名 |
| ・介護予防・日常生活支援事業・日中一時支援 | 定員 20名 |
| ・認知症対応型通所介護事業 | 定員 12名 |

(2) 短期入所生活介護事業（2ユニット）

- | | |
|-------|-------|
| ・緊急入所 | 定員 1名 |
|-------|-------|

(3) 認知症対応型共同生活介護「マグノリア」

定員 18名

認知症対応型共同生活介護「かりん」

定員 18名

(4) 訪問介護事業（介護サービス・介護予防サービス・地域支援事業

障がい福祉サービス・重度障がい児者医療型ショートステイ）

(5) 居宅支援事業（居宅介護支援センター）

(6) 地域包括支援事業（地域包括支援センター）

(7) その他

配食サービス事業

4. 重点目標

その人らしく、自分らしく、いつまでも在宅生活が継続できるよう支援します。

(1) 人材育成と職場定着

◆専門職集団の強みを活かした人財育成に取り組む。

- ①個人の能力に合わせた研修へ意欲的に参加し、新しい情報（研修・介護技術）を積極的に取り入れる。（オンライン研修の活用）
- ②ICT化の一環として、タブレットを導入し記録の簡素化を図る。
- ③各事業所の業務の見直しを行い業務効率化、定時退社を目指す。

- (2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）
 - ◆伴走型相談・支援の拠点として利用者の生活を支える。
 - ①認知症高齢者の理解を深め、ご家族の支援を専門職が連携して行う。
（ぽっかぽかの会の充実、ぽかぽか通信、マグカフェ等）
 - ②利用者へ新しい満足を提供できるような創意工夫を行い個別ケアの充実を図る。（次世代型デイサービスへの展開）
 - ③「土曜日何でも相談コーナー」の充実を図り利用者サービスへ繋げる。

- (3) リスク対策（感染・安全・災害等）
 - ◆各リスクに対する予防・安全策の取り組み
 - ①感染予防対策の継続と物品管理を行う。
 - ②レベル3の事故防止、ヒヤリハットの活用方法と予防的視点での対応策が検討出来るような研修の実施と入力簡素化。
 - ③地域住民参加型の防災、災害訓練の実施。

- (4) 施設・設備整備
 - ◆安全で安心できる施設環境、職員の職場環境の整備。
 - ①大規模改修の計画的実施と各事業所毎の環境整備を実施。
（2F風呂場、1Fヘルパー事業所環境、デイの休憩場所整備等）
 - ②車両の整備 公用車の安全安心を強化。
除雪機の整備によりデイ送迎時のストレス改善を図る。

- (5) 地域連携・社会貢献
 - ◆地域の総合窓口として各事業ごとに地域活動に取り組む
 - ①地域住民、ボランティアとの交流促進（マグカフェ・子ども食堂）。
 - ②広報誌（地域配布）（専門職による役立つ情報、知識の提供）。
ホームページの更なる活用。（施設内 各事業所の活動紹介）
 - ③除雪機の整備により近隣歩道の除雪支援

- (6) 経営管理
 - ◆各事業の安定経営（経営的視点）を目指す。
 - ①運営会議を活性化し、目標と実績開示により、計画の達成を目指す。
 - ②顧客の創造（受入れ）と切れ目のない運営管理
 - ③顧客満足度の向上及び職員満足度の向上

係数目標

通所介護事業	65.7名
・通所介護	37.8名
・介護予防・日常生活支援事業・日中一時支援	19.0名
・認知症対応型通所介護事業	8.9名
短期入所生活介護事業・緊急入所	19.3名
認知症対応型共同生活介護「マグノリア」	17.9名
認知症対応型共同生活介護「かりん」	17.9名
訪問介護事業	25名
居宅支援事業（居宅介護支援センター）	190名
地域包括支援事業（地域包括支援センター）	170名
配食サービス事業	30食

収支目標

収入	514.3百万円
支出	503.5百万円
（内減価償却費	37.5百万円）
経常増減差額	10.8百万円

5. 新規事業

なし

6. その他

なし